

(添付ファイル 第8号様式)

## 平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
						目標年	用地費	進捗率				
広域河川改修事業	10	二級河川 志登茂川	津市		<p><b>【全体事業概要】</b>                      延長6,407m(志登茂川)、1,463m(横川)                      築堤 11,960m 掘削 692,560m<sup>3</sup> 護岸 11,160m 樋門・樋管 3基 橋梁 20橋                      用地補償費 1式</p>	S47	28,150	47.0%	・毛無川合流点から近鉄名古屋線までは概ね護岸及び堤防が完成しています。 ・県道草生窪田津線より上流は護岸が概ね完成しています。 ・現在、江戸橋の整備に着手しています。	(周辺環境の変化) ・下流部は近鉄江戸橋駅を中心に市街地が形成されています。依然として、治水対策の必要性が高い状況です。 ・近年では、平成16年9月に約350戸の家屋浸水被害が発生しました。	B/C = 16.52 全評価期間の費用・便益について社会的割引率を用いて、現在価値化した結果、便益・費用とも増となったが、投資済みの費用が多いことから、総費用の増大が著しいため、費用便益比が減少しました。 発生土を築堤工事に有効利用し、建設副産物の発生抑制に努めます。また、護岸材料、工法の新技術の活用等により、コスト削減ができるように努めます。 「遊水地・調整池案」「放水路案」とも新たな広大な用地の取得や、補償が困難です。また、「放水路案」は、鉄道、幹線道路を横断することから公共交通に影響が生じます。	治水安全性の早期向上のため、継続して事業の推進を図ります。
						)	16,541	43.0%				
						H45	11,609	54.0%				
<p><b>【事業目的】</b>                      志登茂川沿川の浸水被害防止を目的とした築堤工、河床掘削、護岸工等の施工による河川改修を行い、流下能力を増大させ、治水安全度の向上を図ることが事業の目的です。</p>												

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

(添付ファイル 第8号様式)

## 平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
						目標年	用地費	進捗率				
広域河川改修事業	11	二級河川安濃川	津市他		<p>【全体事業概要】                      全体事業費 11,356百万円                      計画延長                      L=11,100m(安濃川)                      L=6,300m(岩田川)                      L=1,100m(三泗川)                      ・河道掘削 V=1,046,400m<sup>3</sup>                      ・築堤 V=21,620m<sup>3</sup>                      ・護岸 L=13,260m                      ・橋梁 6橋                      ・用地補償費 1式</p>	H15	11,356	18.5%	<p>【実施事業内容】                      ・築堤 L = 442m                      ・河道掘削 V = 5,100m<sup>3</sup>                      ・護岸 L = 602m                      ・橋梁 2橋                      ・用地補償 1式</p>	<p>(周辺環境の変化)                      ・安濃川、岩田川は津市の中心市街地を貫流しており、依然として治水事業の必要性は高い状況です。                      ・中上流部に伊勢自動車道津インターチェンジや国道23号(中勢バイパス)があります。また、中勢バイパス東側にあります「メッセ・ウイング三重」の隣に津市屋内スポーツ施設が計画されています。                      ・平成24年2月の「津市・住民意識調査」では、「災害に強いまちの推進」が最も重要度が高い評価になっています。                      ・昭和49年7月の集中豪雨では、津市内で4万人を超える被災者、12,500戸を超える家屋が浸水し、そのうち、安濃川・岩田川流域では、5,000戸を超える家屋が浸水しました。</p>	<p>B/C= 38.50                      全評価期間の費用・便益について社会的割引率を用いて現在価値化した結果、便益、費用とも増となったが、資産増に伴う便益の増加が大きく、B/Cが増加しました。                       発生土を有効利用し、建設副産物の発生抑制に努めます。また、護岸材料、工法の新技术等の活用により、コスト削減に努めます。                       安濃川河川整備基本方針策定時に河道改修、ダム、遊水池について比較検討した結果、経済性等の観点から、遊水池と河道改修の組合せが、最も有利と判断しています。                      このうち、河川整備計画では、河道改修を行うものであり、これまで進めてきた改修とも整合していることから、現行の河道改修が妥当と考えます。</p>	<p>岩田川の整備完了後、三泗川及び安濃川へと順次整備を進めていきます。</p>
						}	5,407	7.0%	<p>【以降事業内容】                      ・築堤 L = 21,178m                      ・河道掘削 V = 1,041,300m<sup>3</sup>                      ・護岸 L = 12,658m                      ・橋梁 4橋                      ・用地補償 1式</p>			
						H44	5,949	11.0%				

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

(添付ファイル 第8号様式)

## 平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
							目標年	用地費				
広域河川改修事業	12	二級河川三渡川	松阪市		<p>【全体事業概要】            全体延長 L=1,600m            計画流量 Q=380m<sup>3</sup>/s            築堤工 V=8,266m<sup>3</sup>            掘削工 V=54,321m<sup>3</sup>            護岸工 L=1,330m            橋梁 1橋            用地補償 1式</p>	H20	2,005	25%	<p>・市道三渡橋周辺の河川改修を進めており、下部工(左岸橋台)が完成しています。</p> <p>(周辺環境の変化)            ・三渡川流域では、交通網・物流網が集中しており、沿川には市街地が形成されています。依然として、治水対策の必要性が高い状況です。            ・近年では、平成16年9月に45戸の家屋浸水被害が発生しました。</p>	<p>B/C = 26.95            全評価期間の費用・便益について社会的割引率を用いて、現在価値化した結果、資産の減少に加え、費用が増加したことから、費用便益比が減少しました。            引堤工事に伴い発生する土砂を堤防盛土等に利用することでコスト削減に努める。また、架替を実施する市道三渡橋は経済比較を行い、最適な工法を採用している。            「ダム案」ダムの適地はありません。「遊水地・調整池案」新たな広大な用地の取得や補償が困難です。</p>	<p>治水安全性の早期向上のため、継続して事業の推進を図ります。</p> <p>平成49年度の整備完成を目標として、ネック点となっている市道橋三渡橋を架替えた後に引堤による河道拡幅を順次進めます。</p>	
						}	1,064	16%				
						H49	941	35%				

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

(添付ファイル 第8号様式)

## 平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
					採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
						工事費	進捗率				
						目標年	用地費				
広域河川改修事業	13	二級河川百々川	松阪市		H20	3,945	35%	・防潮水門の改築工事が完了しています。  (周辺環境の変化) ・百々川流域では、前回整備計画策定時以降から大きな変化はありません。沿川には市街地が形成されており、依然として、治水対策の必要性が高い状況です。 ・近年では、平成5年11月に集中豪雨により20戸、平成12年9月の集中豪雨により48戸、平成16年9月の台風第21号により100戸の家屋浸水被害が発生しています。	B / C = 1.85 全評価期間の費用・便益について社会的割引率を用いて、現在価値化した結果、資産の減少に加え、費用が増加したことから、費用便益比が減少した。 引堤工事に伴い発生する土砂を堤防盛土等に利用することでコスト削減に努める。また、水門のゲート形式について経済比較を行い、最適な工法を採用しています。 「ダム案」ダムの適地はありません。「遊水地・調整池案」新たな広大な用地の取得や補償が困難です。	治水安全性の早期向上のため、継続して事業の推進を図ります。  平成49年度の整備完了を目標としてネック点となっている松ヶ崎橋を架替えた後に、上流へ河道拡幅を順次進めます。	
					}	3,222	43%				
					H49	723	0%				

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

(添付ファイル 第8号様式)

## 平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
目標年	用地費	進捗率										
河川事業	14	一級河川五十鈴川 広域河川改修事業	伊勢市		<b>【全体事業概要】</b> 全体事業費 13,621百万円 計画延長 L = 13,210m ・築堤工 L = 21,400m ・掘削工 V = 412,000m <sup>3</sup> ・護岸工 L = 28,010m ・橋梁工 17橋 ・樋門樋管 32基 ・堰 9基 ・用地補償費 1式	S24	13,621	58.0%	<b>【実施事業内容】</b> ・築堤工 L = 17,480m ・掘削工 V = 200,000m <sup>3</sup> ・護岸工 L = 24,130m ・橋梁工 15橋 ・樋門樋管 25基 ・堰 7基 ・用地補償 1式  <b>【以降事業内容】</b> ・築堤工 L = 3,920m ・掘削工 V = 212,000m <sup>3</sup> ・護岸工 L = 3,880m ・橋梁工 2橋 ・樋門樋管 7基 ・堰 2基 ・用地補償 1式	(周辺環境の変化) ・流域には、この地方の根幹をなす交通網の拠点が あり、この地域の社会・経済・文化の基盤をなしています。 ・上流には伊勢神宮があり、豊かな自然環境が残り、神宮を中心として観光客が多数訪れ、第62回式年遷宮に向けての増加も期待されています。	B/C = 1.46 河床掘削等による発生土の有効利用や、護岸材料・工法の新技術の活用等によりコスト削減ができるよう検討します。 「ダム案」ダムの適地はありません。「遊水地・調整池案」新たな広大な用地の取得や補償が困難です。	治水安全性の早期向上のため、継続して事業の推進を図ります。  当面は、楠部工区の整備を進め、平成46年度末の完成を目標に整備を進めていきます。
							11,342	55.6%				
						H46	2,279	69.8%				

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

(添付ファイル 第8号様式)

## 平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
						目標年	用地費	進捗率				
河川事業	15	一級河川 椋尻川	伊勢市		<p><b>【全体事業概要】</b>            全体事業費 5,325百万円            計画延長 L = 1,660m            ・築堤工 L = 160m            ・掘削工 V = 84,000m<sup>3</sup>            ・護岸工 L = 3,326m            ・橋梁工 7橋            ・用地補償 1式</p>	H6	5,325	46.9%	<p><b>【実施事業内容】</b>            ・護岸工 L = 992m            ・橋梁工 3橋            ・用地補償 1式</p> <p><b>【以降事業内容】</b>            ・築堤工 L = 160m            ・掘削工 V = 84,000m<sup>3</sup>            ・護岸工 L = 2,334m            ・橋梁工 4橋            ・用地補償 1式</p>	<p>(周辺環境の変化)            ・椋尻川の沿川は住宅が集中し、隣接の工場跡地に大型商業店舗が進出するとともに、災害医療拠点である伊勢赤十字病院が整備されています。            ・近年ではH24年に国道と県道を結ぶ伊勢南北幹線道路も完成しています。</p>	<p>B/C = 7.64            河床掘削等による発生土を近隣の他事業に流用する等検討、また、護岸材料、工法の新技術の活用等によりコスト削減ができるよう検討します。            「ダム案」ダムの適地はありません。「遊水地・調整池案」新たな広大な用地の取得や補償が困難です。</p>	<p>治水安全性の早期向上のため、継続して事業の推進を図ります。</p> <p>上流右岸の工事着手に向けて用地買収を進め、平成40年度末の完成を目標に整備を進めていきます。</p>
						}	3,468	29.2%				
						H40	1,857	80.1%				
<p><b>【事業目的】</b>            椋尻川沿川の浸水被害防止を目的に築堤・護岸工等の改修により流下能力を確保し、治水安全度の向上を図ります。</p>												

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

(添付ファイル 第8号様式)

## 平成25年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価理由	全体事業概要と目的	事業進捗状況			事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	
						採択年	総事業費	進捗率				事業進捗内容
							工事費	進捗率				
目標年	用地費	進捗率										
河川事業	17	一級河川大内山川 広域河川改修事業	大紀町		<b>【全体事業概要】</b> 全体事業費 7,209百万円 計画延長 L = 22,700m ・築堤工 L = 7,937m ・掘削工 V = 1,111,800m <sup>3</sup> ・護岸工 L = 16,463m ・橋梁工 10橋 ・堰 1基 ・用地補償 1式	S54	7,209	78.0%	<b>【実施事業内容】</b> ・築堤工 L = 5,600m ・掘削工 V = 299,000m <sup>3</sup> ・護岸工 L = 11,851m ・橋梁工 6橋 ・用地補償 1式	(周辺環境の変化) ・紀勢自動車道は、平成平成25年3月24日に紀勢大内山ICから紀伊長島IC間が開通し、紀伊長島から海山ICまでの延伸工事が行われており、平成25年度中に開通する予定です。	B/C = 1.48 河床掘削等による発生土を近隣の他事業に流用する等によりコスト削減ができるよう検討します。「ダム案」ダムの適地はありません。「遊水地・調整池案」新たな広大な用地の取得や補償が困難です。	治水安全性の早期向上のため、継続して事業の推進を図ります。  平成35年度の整備完了を目標として、崎工区の整備完了後、順次、上流の車瀬工区の整備を進めます。
						}	6,420	78.4%	<b>【以降事業内容】</b> ・築堤工 L = 2,337m ・掘削工 V = 812,800m <sup>3</sup> ・護岸工 L = 4,612m ・橋梁工 4橋 ・堰 1基 ・用地補償 1式			
						H35	789	74.5%				
					<b>【事業目的】</b> 大内山川沿川の浸水被害防止を目的に掘削及び築堤護岸工等の改修により流下能力を確保し、治水安全度の向上を図ります。							

注:再評価理由

- 事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業
- 事業採択後一定期間を経過した時点で継続中の事業
- 再評価実施後一定期間が経過している事業
- 社会経済情勢の急激な変化等により再評価を実施する必要が生じた事業

(添付ファイル 第9号様式)

## 平成25年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						当初	当初					
						最終	最終					
砂防等事業	505	神園地区	伊勢市	<p>【全体事業概要】            全体事業費:811百万円            対策工            ・集水井工 + 集水ボーリング工 + 排水ボーリング工:2箇所            ・横ボーリング工:6箇所            ・アンカー工:3箇所            ・抑止杭工:1箇所            ・河川護岸工 + 洗掘防止工:1箇所            ・水路工:1箇所</p>	H11	H15	1,040	<p>対策後の斜面状況            工事完了後1年間の地すべり変位観測の結果、地すべり活動の収束判断基準である累積変位量6mm/年を下回り、地すべり活動は収束。            対策工の効果により斜面は安定し、人家や県道などが保全されている。</p>	<p>・切土・盛土のような大きな地形改変を伴う工法は行わず、生態系等の環境への影響を抑えた。            ・県道沿いに施工したアンカー工は、アンカー間に植栽を行い景観に配慮した。</p>	<p>地すべり土塊到達範囲内にある町営の親水公園宮リバー度会パークは、「三重県緊急輸送道路ネットワーク計画」(平成19年策定)において、東海地震、東南海・南海地震の活動・物資搬送拠点に定められた。このことから、計画策定時と比べ、当地区での地すべり対策の重要性が高くなった。</p>	<p>アンケート結果の分析            ・本事業の認知度は高いが、事業箇所から離れている地区では比較的低い値であった。            ・周辺住民の56%が、地すべり対策工事により安心感が向上したと評価している。            ・地すべり対策工事実施後に地すべりの災害が発生していないことや、道路や家が保全されていることなどが、安心感向上の主な理由となっている。            ・安心感が向上したとは思えない理由として、「地すべり対策工事の効果がわかりにくい」という意見が多かった。</p>	<p>・アンケート結果より、事業対象地から離れている地区では事業の認知度が低いことがわかった。地すべりの被害想定区域は広範囲に及ぶことから、情報提供を行う際には広く周知していく必要がある。            ・アンケート結果より、地すべり対策工事の効果がわかりにくいという意見が多いことから、地すべりの仕組みや対策工の役割などを十分に説明する必要がある。</p>
				<p>【事業目的】            大規模な地すべりからの人家や道路の保全、河川への地すべり土塊流入防止などを目的として、地すべり対策事業を実施。</p>				H20				